

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



2020.7.13-19

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

146:1 ハレルヤ。私のたましいよ。主をほめたたえよ。

146:2 私は生きているかぎり、主をほめたたえよう。いのちのあるかぎり、私の神に、ほめ歌を歌おう。

146:3 君主たちにたよってはならない。救いのない人間の子に。

146:4 その息が絶えると、その者はおのれの土に帰り、その日のうちに彼のもろもろの計画は滅びうせる。

146:5 幸いなことよ。ヤコブの神を助けとし、その神、主に望みを置く者は。

146:6 主は天と地と海とその中のいっさいを造った方。とこしえまでも真実を守り、

146:7 しいたげられる者のためにさばきを行ない、飢えた者にパンを与える方。主は捕われ人を解放される。

146:8 主は盲人の目をあけ、主はかがんでいる者を起こされる。主は正しい者を愛し、

146:9 主は在留異国人を守り、みなしごとやもめをささえられる。しかし主は悪者の道を曲げられる。

146:10 主は、とこしえまでも統べ治められる。シオンよ。あなたの神は代々にいます。ハレルヤ。

「ハレルヤ」という賛美のことばがありますが、不思議なことにこの賛美のことばは、詩篇中あまり見かけません。このことばで始まる詩篇は、これを含めて最後の方の数篇しかないのです。それは主をほめたたえることの現実がそのようなものだからでしょう。

すべての人の現実は、とても主を賛美する気にはならないような厳しさの連続と言えます。そのような中で、ダビデのように苦しさを訴えるこの方が多

くなるでしょう。「しいたげ」「飢え」「捕われ」「盲人」「かがんでいる者」「みなしごとやもめ」「悪者」など、苦難の種は尽きないのです。

しかしここにもあるように、その中から主はおりにかなった助けと与え、ピンチの中で力を表してくださるのです。その主をたたえるのが賛美であり、ハレルヤのことばなのです。そこにこそ本当の感謝があるのです。そのような前向き、積極的、肯定的な気持ちで、これまでの苦難と向き合いましょう。またこれからの困難に向かいましょ

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



147:1 ハレルヤ。まことに、われらの神にほめ歌を歌うのは良い。まことに楽しく、賛美は美しい。

147:2 主はエルサレムを建てイスラエルの追散らされた者を集める。

147:3 主は心の打ち砕かれた者をいやし彼らの傷を包む。

147:4 主は星の数を数え、そのすべてに名をつける。

147:5 われらの主は偉大であり、力に富み、その英知は測りがたい。

147:6 主は心の貧しい者をささえ、悪者を地面に引き降ろす。

147:7 感謝をもって主に歌え。立琴でわれらの神にほめ歌を歌え。

147:8 神は雲で天をおおい、地のために雨を備え、また、山々に草を生えさせ、

147:9 獣に、また、鳴く鳥の子に食物を与える方。

147:10 神は馬の力を喜ばず、歩兵を好まない。

147:11 主を恐れる者と御恵みを待ち望む者とを主は好まれる。

主をほめたたえる賛美です。その理由は主の全能の力にあります。星を熟知しているその知識と、力に富むその権能が歌われていると同時に、そのすばらしいお方が、「心の打ち砕かれた者」や「貧しい者」の味方であってくださると歌われています。何と心強いことでしょうか。

私たちが主の偉大さをいつも心に思いましよう。そしてその主が、弱いときの味方であることを忘れずにいましよう。もしも今、弱っている人があるなら、または弱っているところがあるなら、主にそれを告白して助けをいただきましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ▶15日 水曜

### 詩篇

147:12 エルサレムよ。主をほめ歌え。シオンよ。あなたの神をほめたたえよ。

147:13 主は、あなたの門のかんぬきを強め、あなたの中にいる子らを祝福しておられるからだ。

147:14 主は、あなたの地境に平和を置き、最良の小麦であなたを満たされる。

147:15 主は地に命令を送られる。そのことばはすみやかに走る。

147:16 主は羊毛のように雪を降らせ、灰のように霜をまかれる。

147:17 主は氷をパンくずのように投げつける。だれがその寒さに耐ええようか。

147:18 主が、みことばを送って、これらを溶かし、ご自分の風を吹かせると、水は流れる。

147:19 主はヤコブには、みことばを、イスラエルには、おきてとさばきを告げられる。

147:20 主は、どんな国々にも、このようには、なさらなかった。さばきについて彼らは知っていない。ハレルヤ。

さらに主への賛美が続きます。その理由は主が家庭を守ってくださるからです。親になると分かることは、子どもを完全に守ることは人間の力ではできないということではないでしょうか。神様の御手が、危険が入り込まないように、「門のかんぬきを強めて」くださいます。そして「子らを祝福して」くださるのです。

それは万事に言えることでしょう。大切なものを守ってくださるのは主です。そのことを忘れないように、主の恵みをおたたくような選択をしましょう。

また主を賛美する理由は、自然界を支配しておられるからです。農業をしている方が実感するのは、気候は人間の力ではどうすることもできないということではないでしょうか。その自然を主は支配なさ



り、「最良の小麦で」満たしてくださるといっ  
です。

この世には自分の力ではどうにもならないことがたくさんあります。主の恵みをいただくには、主の御心にかなうものであることが重要です。そのためには、「みことば」と「おきて」を教えていただけることは感謝なことなのです。どのように生きるべきかを主に聞きましょう。すでに気づいていることがあるなら、主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



148:1 ハレルヤ。天において主をほめたたえよ。いと高き所で主をほめたたえよ。  
148:2 主をほめたたえよ。すべての御使いよ。主をほめたたえよ。主の万軍よ。  
148:3 主をほめたたえよ。日よ。月よ。主をほめたたえよ。すべての輝く星よ。  
148:4 主をほめたたえよ。天の天よ。天の上にある水よ。  
148:5 彼らに主の名をほめたたえさせよ。主が命じて、彼らが造られた。  
148:6 主は彼らを、世々限りなく立てられた。主は過ぎ去ることのない定めを置かれた。  
148:7 地において主をほめたたえよ。海の巨獣よ。すべての淵よ。  
148:8 火よ。雹よ。雪よ。煙よ。みことばを行なうあらしよ。  
148:9 山々よ。すべての丘よ。実のなる木よ。すべての杉よ。  
148:10 獣よ。すべての家畜よ。はうものよ。翼のある鳥よ。  
148:11 地の王たちよ。すべての国民よ。君主たちよ。地のすべてのさばきづかさよ。  
148:12 若い男よ。若い女よ。年老いた者と幼い者よ。  
148:13 彼らに主の名をほめたたえさせよ。主の御名だけがあがめられ、その威光は地と天の上にあるからだ。  
148:14 主は、その民の角を上げられた。主の聖徒たち、主の近くにいる民、イスラエルの子らの賛美を。ハレルヤ。

さらに主への賛美が続き、ここでは天上にあるものに向かって賛美することを勧めています。人間だけではなく、人間が及ぶことのできない領域にまで

賛美を促しているのは、驚くべきことです。そのような発想は聖霊によらなくは出て来ないように思えます。私たちも聖霊によって、スケールの大きな見方や感じ方、捉え方をしたいと節に願います。

さらに詩人はスケールの大きな目で、海、山、地の王たちや世界の各世代の人々に、賛美を促しています。世界を主の威光のもとにあるという目で見るとはすばらしいことです。

私たちも、自分の職場、家庭、学校、その全てをそのような主の權威のもとにあることを、信仰の目で見て、スケールの大きな者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



149:1 ハレルヤ。主に新しい歌を歌え。聖徒の集まりで主への賛美を。

149:2 イスラエルは、おのれの造り主にあって喜び。シオンの子らは、おのれの王にあって楽しむ。

149:3 踊りをもって、御名を賛美せよ。タンバリンと立琴をかなでて、主にほめ歌を歌え。

149:4 主は、ご自分の民を愛し、救いをもって貧しい者を飾られる。

149:5 聖徒たちは栄光の中で喜び勇め。おのれの床の上で、高らかに歌え。

149:6 彼らの口には、神への称賛、彼らの手には、もろ刃の剣があるように。

149:7 それは国々に復讐し、国民を懲らすため、

149:8 また、鎖で彼らの王たちを、鉄のかせで彼らの貴族たちを縛るため。

149:9 また書きしるされたさばきを彼らの間で行なうため。それは、すべての聖徒の誉れである。ハレルヤ。

詩篇のまとめとも言える位置にあるのがこの歌です。詩篇のヘブル語名であるテヒリームは賛美という歌ですが、その多くは苦難の中で主に助けを求めるものです。詩篇 150 篇の終わりのほうになって、賛美であるハレルヤということばがようやく出てくるのは、私たちの人生がそのようなものであり、賛美もまたそのようなものだからです。

賛美とは苦しみを考えないようにするところから生まれるのではなく、また苦しみのない人から生まれるのではありません。苦しみを抱えながらも、全能の主に心を向けてするものなのです。

主はイスラエルの苦しみを、またはダビデの苦しみを「愛を持って」解決してくださり、弱い惨めな者のままでも「飾って」くださいます。美しい者、優れた者にしてください。弱いままでもだい

じょうぶなのです。信じましょう。

また主は敵に対して、「復讐」をも与えてくださいます。そのような安心こそが心の安定を保つこともあると主はご存知なのです。それほどの仕打ちを受ける人も、この世ではあるのです。そこから自分が保たれて、その上で敵を赦すことも可能になってきます。誰かからひどい仕打ちを受けた経験のある人で、まだ恐れに縛られている人があるなら、復讐の主がついていることを覚えて安心しましょう。

そして安心が与えられたら、赦すことにチャレンジしていきましょう。赦すことは、自分が次のステップに進むためであると知ることができるでしょう。

そのようにどんな苦しみの中でも、主を賛美していきましょう。それが人生を肯定的、積極的、前向きにする大前提になります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



150:1 ハレルヤ。神の聖所で、神をほめたたえよ。御力の大空で、神をほめたたえよ。  
150:2 その大能のみわざのゆえに、神をほめたたえよ。そのすぐれた偉大さのゆえに、神をほめたたえよ。  
150:3 角笛を吹き鳴らして、神をほめたたえよ。十弦の琴と立琴をかなでて、神をほめたたえよ。  
150:4 タンバリンと踊りをもって、神をほめたたえよ。緒琴と笛とで、神をほめたたえよ。  
150:5 音の高いシンバルで、神をほめたたえよ。鳴り響くシンバルで、神をほめたたえよ。  
150:6 息のあるものはみな、主をほめたたえよ。ハレルヤ。

詩篇の最後の歌です。非常に単純に「神をほめたたえよ。」とあります。そこには理屈も条件も一切書いてありません。このように単純に主を賛美できるなら、それは勝利です。

かつてイスラエルが敵に攻められて滅亡の危機にあるとき、主は軍隊の先頭に賛美チームを配置なさいました。その賛美によって主がみわざを表して、敵を攪乱しイスラエルに勝利をもたらしたのです。

私たちの人生もまさにこのようです。主をほめたたえることは、主がくださった人生をもほめたたえることです。常に、常に主を賛美して、人生を喜び楽しみ、前進してゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1:1 神の福音のために選び分けられ、使徒として召されたキリスト・イエスのしもペパウロ、

1:2 ・ ・ この福音は、神がその預言者たちを通して、聖書において前から約束されたもので、

1:3 御子に関することです。御子は、肉によればダビデの子孫として生まれ、

1:4 聖い御霊によれば、死者の中からの復活により、大能によって公に神の御子として示された方、私たちの主イエス・キリストです。

1:5 このキリストによって、私たちは恵みと使徒の務めを受けました。それは、御名のためにあらゆる国の人々の中に信仰の従順をもたらすためなのです。

1:6 あなたがたも、それらの人々の中にあって、イエス・キリストによって召された人々です。 ・ ・ このパウロから、

1:7 ローマにいるすべての、神に愛されている人々、召された聖徒たちへ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安があなたがたの上にありますように。

パウロの自己紹介です。彼は自分のことを「キリスト・イエスのしもペ」と言っています。この世の立場や実績よりも、イエス様との関係が何よりも重要と考えているのです。それこそがクリスチャンの自己像です。

また単なるしもべではなく、このイエス様がいかにか素晴らしい救い主であるかが、そこに宣言されています。私たちも自分自身を、神様の救いのみわざとの関係で理解するなら、揺るぎなくまた肯定的な自己像が確立できるのです。

そのように自分を見て、また人生を見て、そして人にも見られるようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

